

文化表現学科
観光実務士課程

2021 年 4 月 1 日 更新

科 目 名	観光学総論			単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	ほん みよんじん 洪 明 真	
ナンバリングコード	TOS3221			授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）									
授 業 の 内 容	観光の歴史、経済、資源、産業、政策などの事例から、観光学の意義や役割、機能を理解し、観光学について具体的に捉える。 観光産業で働けるため必要な知識および観光学に関する基礎能力を育む授業とする。									
到 達 目 標	１．観光について総合的、多面的に理解し、説明できる。 ２．旅行業について総合的、多面的に理解し、説明できる。 ３．宿泊業について総合的、多面的に理解し、説明できる。									
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1, 2, 3 ）									
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーションとガイダンス：本講義の全体像	予習	シラバスを読んでおくこと					
				復習	授業の狙いと意義について					
	第 2 回	内容	観光とは何か	予習	観光の定義を調べておくこと					
				復習	授業内容を整理し理解すること					
	第 3 回	内容	観光の歴史	予習	観光の歴史について調べておくこと					
				復習	授業内容を整理し理解すること					
	第 4 回	内容	観光と経済	予習	観光産業について調べておくこと					
				復習	授業内容を整理し理解すること					
	第 5 回	内容	観光産業①（宿泊業の事例）	予習	宿泊業について調べておくこと					
				復習	授業内容を整理し理解すること					
	第 6 回	内容	観光産業②（運送業の事例）	予習	運送業について調べておくこと					
				復習	授業内容を整理し理解すること					
	第 7 回	内容	観光産業③（テーマパークの事例）	予習	テーマパークについて調べておく					
				復習	授業内容を整理し理解すること					
	第 8 回	内容	観光と宗教（ホスピタリティとの関わり）	予習	ホスピタリティについて調べておくこと					
				復習	授業内容を整理し理解すること					
	第 9 回	内容	観光と地域（草津温泉）	予習	温泉地について調べておくこと					
				復習	授業内容を整理し理解すること					
	第 10 回	内容	観光資源について（フランスの事例）	予習	観光資源について調べておくこと					
				復習	授業内容を整理し理解すること					
	第 11 回	内容	観光と世界遺産（外国）	予習	外国の世界遺産について調べておくこと					
				復習	授業内容を整理し理解すること					
	第 12 回	内容	観光と世界遺産（日本）	予習	日本の世界遺産について調べておくこと					
				復習	授業内容を整理し理解すること					
	第 13 回	内容	観光政策（日本と世界）	予習	観光政策について調べておくこと					
				復習	授業内容を整理し理解すること					
	第 14 回	内容	観光とインバウンド	予習	インバウンドについて調べておくこと					
				復習	授業内容を整理し理解すること					
	第 15 回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッションを行う	予習	テーマについて調べ、発表資料を作成しておく					
				復習	ディスカッションした内容をまとめておく					
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。									
	課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて課題や小テストのフィードバックを行う。								
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）、レポート・課題（ 70 %）、作品・発表（ 20 %）、実技（ ）、授業態度【 積極的参加 】（10%）								
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 使用しない。必要に応じ配布資料を使う。									
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 観光学入門 岡本伸之 2001 有斐閣 ほか									
注意事項	授業内容は必ずノートに書いてください。授業態度に含めます。									

科 目 名	観光地理学		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	ほん みよんじん 洪 明 真	
ナンバリングコード	TOS3231		授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）								
授 業 の 内 容	日本の観光地の特徴と観光の目的について、歴史的な観点、現代的な観点、レジャー的な観点、地域振興などの多面的な観点から理解し、観光産業で働ける実務能力を育む授業とする。								
到 達 目 標	1．日本及び世界の観光地の特徴について総合的、多面的に理解し、説明できる。 2．観光地と文化について総合的、多面的に理解し、説明できる。 3．観光地とその特徴について理解し、説明できる。								
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1, 2, 3 ）								
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーションとガイダンス：本講義の全体像	予習	シラバスを読んでおくこと				
				復習	授業の狙いと意義について				
	第 2 回	内容	観光と地域	予習	観光の概念について調べておくこと				
				復習	授業内容を整理しておくこと				
	第 3 回	内容	日本	予習	日本の観光地について調べておくこと				
				復習	授業内容を整理しておくこと				
	第 4 回	内容	韓国	予習	韓国の観光地について調べておくこと				
				復習	授業内容を整理しておくこと				
	第 5 回	内容	台湾	予習	台湾の観光地について調べておくこと				
				復習	授業内容を整理しておくこと				
	第 6 回	内容	香港・マカオ	予習	香港・マカオの観光地について調べておくこと				
				復習	授業内容を整理しておくこと				
	第 7 回	内容	アメリカ（1）	予習	アメリカの観光地について調べておくこと				
				復習	授業内容を整理しておくこと				
	第 8 回	内容	アメリカ（2）	予習	アメリカの観光地について調べておくこと				
				復習	授業内容を整理しておくこと				
	第 9 回	内容	アメリカ（3）	予習	アメリカの観光地について調べておくこと				
				復習	授業内容を整理しておくこと				
	第 10 回	内容	カナダ	予習	カナダの観光地について調べておくこと				
				復習	授業内容を整理しておくこと				
	第 11 回	内容	英国（1）	予習	英国の観光地について調べておくこと				
				復習	授業内容を整理しておくこと				
	第 12 回	内容	英国（2）	予習	英国の観光地について調べておくこと				
				復習	授業内容を整理しておくこと				
	第 13 回	内容	アイスランド	予習	アイスランドの観光地について調べておくこと				
				復習	授業内容を整理しておくこと				
	第 14 回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッションを行う	予習	テーマについて調べ、発表資料を作成しておく				
				復習	ディスカッションした内容をまとめておく				
	第 15 回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッションを行う	予習	テーマについて調べ、発表資料を作成しておく				
				復習	ディスカッションした内容をまとめておく				
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。								
	課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて課題や小テストのフィードバックを行う。							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）、レポート・課題（ 50 % ）、作品・発表（ 40 % ）、実技（ ）、授業態度【 積極的参加 】（10%）							
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 使用しない。必要に応じ配布資料を使う。								
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） ツーリズムの地理学 菊地俊夫 2018 二宮書店ほか								
注意事項	授業内容は必ずノートに書いてください。授業態度に含めます。								

科 目 名	異文化コミュニケーション		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	しばた 柴田 かおる
ナパリングコード*	CUL3131		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	自分の常識が他人には通用しないことがあります。これは相手が誰であっても、その人物が育ってきた環境、文化、歴史などが異なることから生じる価値観の違いによるものです。このクラスでは、自分と違う価値観を持つ人々とのコミュニケーションを円滑に行うためには相手をより理解する力が身に付きます。							
到 達 目 標	1. 人種民族国籍年齢性別を問わず自分と違う文化の人々を理解し受け入れることができる。 2. 自分と価値観や考え方の違う人々に、自分の考えを伝えることができる。 3. 異文化の人々に自国の文化についての的確に説明できる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1,2 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション 異文化とは何かについての考察	予習	シラバスを読んでくる			
				復習	異文化とは何かについて考えてみる			
	第2回	内容	身の回りで発見した異文化について考察する	予習	自分についての異文化について調べる			
				復習	異文化にいる人とのコミュニケーションについて考える			
	第3回	内容	食に見出す異文化についての考察1	予習	色の体験で異文化であると感じたことについてまとめてくる			
				復習	自分がある「食」について異文化であると感じる理由を考えてみる			
	第4回	内容	食に見出す異文化についての考察2	予習	自分にとって大切な食文化をどう説明するか考える			
				復習	自分が絶対に必要な食について、それを知らない人々に説明してみる			
	第5回	内容	日本国内で起きる異文化との摩擦について事例研究1	予習	身近なところで起きている異文化との摩擦について調べる			
				復習	異文化との摩擦が起きる原因を考える			
	第6回	内容	日本国内で起きる異文化との摩擦について事例研究2	予習	異文化に属する人々から見て、自分が当たり前と感じている文化はどう見られているか考えてくる			
				復習	自分が属する文化をどう説明すれば理解されるか考える			
	第7回	内容	贈り物について文化による違いを考察する	予習	自分が贈り物をするのはどういう時でどういう方法をとるのかまとめてくる			
				復習	文化による贈り物の違いを調べる			
	第8回	内容	パンデミックへの対応について文化館の違いを考察	予習	ニュースを参考に、異文化の人々のパンデミックへの対応が自分とはどう違うのか気が付いたことを挙げてみる			
				復習	パンデミックに対して自分と異なる対応をする文化について調べる。			
	第9回	内容	海外で起きている異文化間摩擦について1	予習	海外で起きている異文化摩擦の事例で興味のあるものについて調べる			
				復習	海外で起きている異文化摩擦の原因について考察する			
	第10回	内容	海外で起きている異文化間摩擦について2	予習	海外で起きている異文化摩擦で理解できないものについて、なぜ理解できないのか考えてくる			
				復習	自分が理解できなかった海外の異文化摩擦の事例について調べる			
	第11回	内容	自分と異なる宗教観について考察する1	予習	日本人は宗教心がないという人がいるが、果たして本当にそうか考えてくる			
				復習	興味のある宗教について調べる			
	第12回	内容	自分と異なる宗教観について考察する2	予習	興味のある宗教について調べて発見したことをまとめてくる			
				復習	文化によってことなる宗教の位置づけを考察する			
	第13回	内容	異文化から来た人々と意思の疎通を図る	予習	異文化から来た人々に自分の考えを伝える方法を考えてくる			
				復習	異文化から来た人々を理解するのに大切なことを考える			
	第14回	内容	異文化から来た人々に日本について紹介する	予習	日本について自分は何を紹介できるのか考えてくる			
				復習	日本について自分が紹介したいことを調べてまとめる			
	第15回	内容	授業の総括と演習	予習	ニュースを題材にして、異文化で起きたことで理解困難なことを考えてくる			

				復習	ニュースを題材にして、異文化で起きたことで理解しづらかったことについてその背景を調べる。
	予習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。				
課題へのフィードバック	課題は授業中に発表してもらい、その場で感想や評価を伝えます。				
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）%）、レポート・課題（ 40 %）、作品・発表（ 40 %）、実技（ ）%）、授業態度【 積極的に発表し、ディスカッションに参加、私語を慎む、ノートをとる 】（ 20 %）				
教科書	その都度資料配布/google classroom にて、参考サイトの告知				
参考文献	特になし				
注意事項	授業中の私語は控えてください。 身の回りで異文化を意識することがあったら、それを小まめにメモして授業で生かしてください 日本国内外のニュースで、理解できないことに接したとき、なぜ理解できないのかを考える習慣をつけてください 授業はディスカッション、発表を中心にして進めていきます。グループワークも行います。				

科 目 名	実用英語			単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	はやし たかこ 林 貴子	
ナンバリングコード	ENL3211			授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）									
授 業 の 内 容	本授業は、観光業界や一般企業等で英語力の判断基準として利用される TOEIC のスコアアップを目指す。 TOEIC の問題を解くことによって、英語の基礎力を高め、語彙・表現力の向上と英文法の確認を行う。 また、TOEIC 試験対策を通じ、社会に出た時に英語が使えるように、実用的な英語表現を身に着ける。									
到 達 目 標	1．英語の基礎力を身に着ける（語彙を 3,000 語以上にする、基礎的な英文法を理解する、英語の日常会話やアナウンスが聞き取れる） 2．英語で日常生活における基本的なコミュニケーションをとることができる 3．どのような分野の英語の文章でも大意を理解することができる									
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2, 3, ）									
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス（TOEIC L&R Test について、授業の進め方や宿題、小テストについて）	予習	シラバスを読んでおく					
				復習	TOEIC の試験概要について確認する					
	第 2 回	内容	Unit 1. Events:名詞 平叙文のリスニング問題と名詞の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる					
				復習	可算名詞・不可算名詞について理解する					
	第 3 回	内容	Unit 2. Eating Out:代名詞 Yes/No 疑問文のリスニング問題と代名詞の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる					
				復習	代名詞の格と再帰代名詞について理解する					
	第 4 回	内容	Unit 3. Shopping:動詞 買い物についてのリスニング問題と動詞の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる					
				復習	自動詞と他動詞について理解する					
	第 5 回	内容	Unit 4. Office:進行形 同僚との会話のリスニング問題と進行形の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる					
				復習	進行形の用法について理解する					
	第 6 回	内容	Unit 5. Housing：形容詞 住居に関する会話のリスニング問題と形容詞の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる					
				復習	形容詞・数詞について理解する					
	第 7 回	内容	Unit 6. Community:副詞 地域行事に関する会話のリスニング問題と副詞の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる					
				復習	副詞の役割について理解する					
	第 8 回	内容	Unit 7. Facilities：動名詞 施設に関する会話のリスニング問題と動名詞の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる					
				復習	動名詞の用法について理解する					
	第 9 回	内容	Unit 8. Personnel：品詞 面接での会話のリスニング問題と品詞の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる					
				復習	品詞について理解する					
	第 10 回	内容	Unit 9. Meeting & Workshops:不定詞 Workshop に関する会話のリスニング問題と不定詞の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる					
				復習	不定詞の 3 つの用法について理解する					
	第 11 回	内容	Unit 10. Transaction & Finance:接続詞 ローンに関する会話のリスニング問題と接続詞の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる					
				復習	接続詞の役割・前置詞との違いについて理解する					
	第 12 回	内容	Unit 11. Travel:前置詞 旅行に関する会話のリスニング問題と前置詞の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる					
				復習	前置詞の用法について理解する					
	第 13 回	内容	Unit 12. Health:比較 クリニックの予約電話のリスニング問題と比較の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる					
				復習	比較の基本的な 3 つの形を理解する					
	第 14 回	内容	Unit 13. Letter & Email:現在完了 Email に関する会話のリスニング問題と現在完了の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる					
				復習	現在完了形の 3 つの意味を理解する					
	第 15 回	内容	Unit 14. Ads&Notice：受動態 商品の割引に関するリスニング問題と受動態の知識習得	予習	当該 Unit の Key Vocabulary を覚えてくる					
				復習	受動態の形と能動態の違いについて理解する					
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。									
	課題へのフィードバック	毎回実施する英単語の小テストに対し採点・返却を行う								
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（40％）、授業態度【積極的参加】（60％）								
教科書	『Full Gear for the TOEIC L&R Test』（Mark D. Stafford、妻鳥千鶴子、松井こずえ、金星堂 2018 年）									
参考文献	なし									
注意事項	毎回辞書（電子辞書・紙の辞書どちらでも可）を持参すること。スマートフォンを辞書として使用するのは不可。 成績評価に関して、学期中に TOEIC の受験を薦める。そのスコアにより成績を加点する場合がある。									

科 目 名	イベント・プランニング		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	なかにし きわ 中西 希和
ナンバリングコード	FAB3211		授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	観光関連産業の一つであるイベントは、「人と人」をつなぐコミュニケーション・メディアとしての役割を持ち、観光及びコミュニティ活動を活性化していくための効果的な手段として注目されています。この授業ではイベントについて理解し、観光と関連したイベントを企画することによって、観光アイデアを生み出し、提案していく力を身につけることを目指します。							
到 達 目 標	1. イベントと観光の関係を理解し、説明できる 2. 観光に関するイベントのアイデアを発想することができる 3. アイディアをもとに新しいイベントの企画書を作成し、発表することができる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 2,3 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	オリエンテーション：イベントとは何か	予習	シラバスを読んでおくこと			
				復習	授業内容を理解すること			
	第2回	内容	イベントの歴史と分類	予習	イベントとは何かについて調べておく			
				復習	イベント内容について理解する			
	第3回	内容	コミュニケーション・メディアとしてのイベントの機能と効果	予習	イベントのコミュニケーション機能を調べる			
				復習	イベントのコミュニケーション機能を理解する			
	第4回	内容	観光産業としてのイベントの機能・効果	予習	観光とイベントの関係について調べておくこと			
				復習	観光とイベントの関係を理解すること			
	第5回	内容	観光及びイベントに関する関連法規	予習	観光・イベント関連法規について調べておく			
				復習	観光・イベント関連法規について理解すること			
	第6回	内容	博物館・美術館の展覧会① 展示のプロセス	予習	日本の博物館について調べておくこと			
				復習	博物館の展示について理解すること			
	第7回	内容	博物館・美術館の展覧会② 展示の事例	予習	日本の美術館について調べておくこと			
				復習	美術館の展示について理解すること			
	第8回	内容	イベントの企画	予習	イベントとは何かについて調べておくこと			
				復習	イベントの機能について理解すること			
	第9回	内容	イベント企画の手法 アイディア発想	予習	イベントの発想を考えておくこと			
				復習	イベントの発想を具体化させること			
	第10回	内容	イベント企画・立案	予習	イベントの企画について考えておくこと			
				復習	イベントの企画・立案について推敲しておく			
	第11回	内容	イベント企画書の制作①	予習	イベント企画書を考えておくこと			
				復習	イベントの企画書の推敲をすること			
	第12回	内容	イベント企画書の制作②	予習	イベント企画書をまとめる作業を考えておく			
				復習	イベント企画書に遺漏がないか考えること			
	第13回	内容	プレゼンテーション① 準備	予習	イベント企画書のプレゼンの準備をすること			
				復習	イベント企画を確認すること			
	第14回	内容	プレゼンテーション② 発表	予習	発表の準備をしておくこと			
				復習	発表後の反省点・課題点を考えること			
	第15回	内容	授業の振り返りとまとめ	予習	全体を総括して問題点・課題点を考えておく			
				復習	実践に活かせることを考える			
予習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね90分を目安とする。								
課題へのフィードバック	授業内に小テストを実施し、解説と授業の振り返りを行います。							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（ ○ ）しない 成績評価の方法：筆記試験（30%）、レポート・課題（20%）、発表（30%）、授業態度【積極的参加、出席状況】（20%）							
教科書	なし。必要に応じ、プリントを配布します。							
参考文献	授業の中で随時、紹介します。							
注意事項								

科 目 名	観光事業論			単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	ほん みよんじん 洪 明 真	
ナンバリングコード	TOS3223			授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）									
授 業 の 内 容	観光は、国の経済成長や地域振を支える重要な事業である。多様な観光事業の現状を具体的な事例から理解し、観光マネジメントやマーケティングの理論と実務能力を身につける授業となる。									
到 達 目 標	1．観光事業について総合的、多面的に理解し、説明できる。 2．観光と経済学との関わりについて総合的、多面的に理解し、説明できる。 3．様々な事例から観光事業の現状と課題について理解し、総合的、多面的に説明できる。									
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1, 2, 3 ）									
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーションとガイダンス：本講義の全体像	予習	シラバスを読んでおくこと					
				復習	授業の狙いと意義について理解しておくこと					
	第 2 回	内容	観光事業とは	予習	観光事業について調べておくこと					
				復習	観光事業の役割について整理し理解すること					
	第 3 回	内容	観光事業と出版	予習	出版業について調べておくこと					
				復習	出版業の事例を整理し理解すること					
	第 4 回	内容	観光事業と放送	予習	放送業について調べておくこと					
				復習	放送業の事例を整理し理解すること					
	第 5 回	内容	観光事業と旅行（日本）	予習	日本の旅行業について調べておくこと					
				復習	日本における旅行事例を整理し理解すること					
	第 6 回	内容	観光事業と旅行（世界）	予習	世界の旅行業について調べておくこと					
				復習	世界における旅行事例を整理し理解すること					
	第 7 回	内容	観光事業と航空	予習	航空会社について調べておくこと					
				復習	航空会社の事例を整理し理解すること					
	第 8 回	内容	観光事業と鉄道	予習	鉄道について調べておくこと					
				復習	鉄道と観光事業の関わりを理解すること					
	第 9 回	内容	観光事業と自動車	予習	自動車業について調べておくこと					
				復習	自動車業の事例を整理し理解すること					
	第 10 回	内容	観光事業と土産品	予習	土産品について調べておくこと					
				復習	土産品が持っている観光機能を理解すること					
	第 11 回	内容	観光事業と飲食	予習	飲食業について調べておくこと					
				復習	観光において飲食が持つ意義を理解すること					
	第 12 回	内容	観光事業と宿泊	予習	宿泊業について調べておくこと					
				復習	代表的な宿泊業の事例を整理し理解すること					
	第 13 回	内容	観光事業とマーケティング	予習	マーケティングについて調べておくこと					
				復習	マーケティング事例を整理し理解すること					
	第 14 回	内容	観光事業とホスピタリティ	予習	ホスピタリティについて調べておくこと					
				復習	ホスピタリティの概念を整理し理解すること					
	第 15 回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッションを行う	予習	テーマについて調べ、発表資料を作成しておく					
				復習	ディスカッションした内容をまとめておく					
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。									
	課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて課題や小テストのフィードバックを行う。								
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）、レポート・課題（ 70 ）、作品・発表（ 20 ）、実技（ ）、授業態度【 積極的参加 】（10%）								
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 使用しない。必要に応じ配布資料を使う。									
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 観光事業論 北川宗忠 2001 ミネルヴァ書房 ほか									
注意事項	授業内容は必ずノートに書いてください。授業態度に含めます。									

科 目 名	環境ツーリズム論			単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	ほん みよんじん 洪 明 真	
ナンバリングコード	TOS3232			授業形態	講義	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）									
授 業 の 内 容	環境ツーリズムとは、地域の自然環境や歴史文化の保全に責任を持つ観光の概念のひとつである。また、地域資源の魅力を観光客に伝えることにより、その価値が再認識でき、保全につながっていくことを目指していく。地域社会の活性化の仕組みの知識と、その方法を身につける授業となる。									
到 達 目 標	1．環境ツーリズムについて総合的、多面的に理解し、説明できる。 2．環境ツーリズムとの関わりから持続可能な観光について総合的、多面的に理解し、説明できる。 3．日本と世界の環境ツーリズムについて総合的、多面的に理解し、説明できる。									
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1,2,3 ）									
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーションとガイダンス：本講義の全体像	予習	シラバスを読んでおくこと					
				復習	授業の狙いと意義について					
	第 2 回	内容	持続可能な観光	予習	持続可能な観光について調べておくこと					
				復習	持続可能な観光事例を整理しておくこと					
	第 3 回	内容	世界における環境ツーリズムの展開	予習	世界の環境ツーリズムについて調べておくこと					
				復習	環境ツーリズムの概念を整理しておくこと					
	第 4 回	内容	日本における環境ツーリズムの展開	予習	日本の環境ツーリズムについて調べておくこと					
				復習	環境ツーリズムの取り組みを整理すること					
	第 5 回	内容	環境ツーリズム（自然公園）	予習	自然公園について調べておくこと					
				復習	自然公園の観光的な側面を考察しておくこと					
	第 6 回	内容	環境ツーリズム（国立公園）	予習	国立公園について調べておくこと					
				復習	国立公園の観光機能について理解しておくこと					
	第 7 回	内容	環境ツーリズム（世界遺産）	予習	世界遺産について調べておくこと					
				復習	世界遺産の登録基準を整理し理解すること					
	第 8 回	内容	環境ツーリズム（歴史文化）	予習	歴史文化に関わる環境ツーリズムを調べること					
				復習	重要伝統的建造物群保存地区を整理しておく					
	第 9 回	内容	環境ツーリズム（村落）	予習	村落に関わる環境ツーリズムを調べること					
				復習	環境ツーリズムの村落事例を整理しておくこと					
	第 10 回	内容	環境ツーリズム（農村）	予習	農村に関わる環境ツーリズムを調べること					
				復習	環境ツーリズムの農村事例を整理しておくこと					
	第 11 回	内容	環境ツーリズム（動物）	予習	動物に関わる環境ツーリズムを調べること					
				復習	自然観光資源の事例を整理し理解すること					
	第 12 回	内容	環境ツーリズム（都市）	予習	都市での環境ツーリズムを調べること					
				復習	観光における観光資源について理解すること					
	第 13 回	内容	環境ツーリズムとその利用	予習	環境ツーリズムの利用について調べておくこと					
				復習	環境ツーリズムの事例を整理し理解すること					
	第 14 回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッションを行う	予習	テーマについて調べ、発表資料を作成しておく					
				復習	ディスカッションした内容をまとめておく					
	第 15 回	内容	プレゼンテーションおよびディスカッションを行う	予習	テーマについて調べ、発表資料を作成しておく					
				復習	ディスカッションした内容をまとめておく					
	予習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 90 分を目安とする。									
	課題へのフィードバック	Google Classroom を用いて課題や小テストのフィードバックを行う。								
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）、レポート・課題（ 50 % ）、作品・発表（ 40 % ）、実技（ ）、授業態度【 積極的参加 】（10%）								
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 使用しない。必要に応じ配布資料を使う。									
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 自然ツーリズム学（よくわかる観光学） 菊地俊夫・有馬貴之 2015 朝倉書店 ほか									
注意事項	授業内容は必ずノートに書いてください。授業態度に含めます。									

科 目 名	エアライン実務		単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	ひらい みちこ 平井 美知子
ナンバリングコード	TOS3222		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他 ()							
授 業 の 内 容	エアライン業界及び輸送業界の現状を把握し、それぞれの仕事を理解する。エアライン・輸送業界で働くことをイメージし、求められる知識・適正と能力(美しい言葉づかい・立ち居振る舞い・おもてなしの心)を学び実践できるスキルを身につけます。グローバル社会に対応できる、物事を柔軟に対処し、自ら考え、行動できる、ホスピタリティマインドにあふれた人材を育てます。							
到 達 目 標	1. エアライン・輸送業界で働く様々な方々の仕事を理解している 2. グローバル社会に適応できる、考え方や行動力・ホスピタリティマインドを日々の生活の中で発揮できる 3. 日本人としての素養である、美しい日本語・立ち居振る舞い・おもてなしの心を身につけ実践できる							
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (1 2 3 4)							
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション ・CAの仕事とその魅力について CA 仕事研究	予習	シラバスを読み、授業概要、評価方法等理解しておく			
				復習	この科目を通して習得・体得することを理解する			
	第 2 回	内容	エアライン業界の基本を学ぶ ・空港で働く人たち	予習	テキストの該当ページを読んでおく			
				復習	空港で働く人たちについて、まとめを再考する			
	第 3 回	内容	エアライン業界研究 ① (グループワーク) ・エアライン・ビジネスとは 航空業界研究	予習	テキストの該当ページを読んでおく			
				復習	エアライン・ビジネスの特徴についてまとめる			
	第 4 回	内容	エアライン業界研究 ② (グループワーク) ・航空業界に求められるコミュニケーション	予習	テキストの該当ページを読んでおく			
				復習	好印象を与えるコミュニケーション自宅練習			
	第 5 回	内容	エアライン業界研究 ③ (グループワーク) ・エアライン企業研究 1	予習	テキストの該当ページを読んでおく			
				復習	配布資料をもとに企業研究をすすめる			
	第 6 回	内容	エアライン業界研究 ④ (グループワーク) ・エアライン企業研究 2 空の法律	予習	テキストの該当ページを読んでおく			
				復習	空の法律についてまとめる、企業研究のまとめ			
	第 7 回	内容	エアライン業界研究 ⑤ (グループワーク) ・エアライン企業研究 3 発表	予習	テキストの該当ページを読んでおく			
				復習	他者の発表した企業をまとめる			
	第 8 回	内容	エアライン業界研究 ⑥ (グループワーク) ・航空会社のさまざまな仕事について学ぶ	予習	テキストの該当ページを読んでおく			
				復習	飛行機事業以外の仕事についてまとめる			
	第 9 回	内容	エアライン適正開発 ① (グループワーク) ・エアラインで働くには (求められる素養と適正理解)	予習	エアラインの試験について調べておく			
				復習	エアライン受験に向けてすべきことを整理する			
	第 10 回	内容	エアライン適正開発 ② (グループワーク) ・表情から改善 印象形成 (演習)	予習	印象形成について調べておく			
				復習	自然な笑顔が表現できるよう、日々実行する			
	第 11 回	内容	エアライン適正開発 ③ (演習) ・第一印象をアップする (ヘア・メイク)	予習	明るい印象のヘアスタイルとメイクを調べる			
				復習	自分に似合うヘア・メイクを身につける			
	第 12 回	内容	エアライン適正開発 ④ ・身だしなみ・立ち居振る舞い (ペア・ワーク)	予習	身だしなみ・立ち居振る舞いについて調べる			
				復習	体得した身だしなみ・立ち居振る舞いを実行する			
	第 13 回	内容	エアライン適正開発 ⑤ ・美しい言葉づかい (ペア・ワーク)	予習	正しい敬語の遣い方について調べる			
				復習	日々、習得した美しい言葉づかいで話す			
	第 14 回	内容	エアライン適正開発 ⑥ ・伝え方・積極的な聴き方 (ペア・ワーク)	予習	積極的な伝え方・聴き方について調べる			
				復習	習得した伝え方・聴き方を日々実行する			
	第 15 回	内容	エアライン適正開発 ⑦ ・好印象な接客対応を体得する (演習)	予習	客室乗務員のサービスの仕方について調べる			
				復習	習得した好印象の接客対応を身につける			
予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題シートに対してコメントを行う							
成績評価	試験期間における定期試験：実施 (○) する／ () しない 成績評価の方法：筆記試験 (60%)、レポート・課題 (20%)、実技 (10%)、授業態度【自主性】(10%)							
教科書	『書名』(著者名、出版社名) 『書名』(著者名、出版社名)『エアライン・ビジネス入門』稲本恵子(編著) 晃洋書房							
参考文献	『書名』(著者名、出版社名)『月刊 エアステージ』(イカロス出版)『月刊 エアライン』(イカロス出版)							
注意事項	授業で学んだことを日々復習し、自己表現力やマナー、コミュニケーションスキルを身につけられるよう取り組んでほしい。							

科 目 名	エアライン英会話			単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	ひらい みちこ 平井 美知子	
ナンバリングコード	ENL3221			授業形態	演習	実務経験				
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）									
授 業 の 内 容	グローバル社会のエアラインには必須の英語力を身につけます。 英語面接で想定される質問に対し、応答を作成し、英語面接でのスムーズな応答を練習をしています。 エアライン業務を想定し、お客様対応のフレーズを練習します。									
到 達 目 標	１． 英語での自己表現が、感情豊かにできる ２． 英語での質疑応答ができる ３． エアライン業務の現場で、英語のコミュニケーションが自主的にできる									
学位授与方針	幼児教育学科（ ） 地域保育学科（ ） 文化表現学科（ 2、3 ）									
授 業 計 画	第 1 回	内容	オリエンテーション ・ Airline Terms ① (ペア・ワーク)	予習	シラバスを読み、授業概要、評価方法等理解しておく					
				復習	エアライアンでよく使われる用語を理解する					
	第 2 回	内容	Airline Terms ② Public Announcements I (ペア・ワーク)	予習	前回の機内用語を覚える					
				復習	用語と機内アナウンスの言い回しを覚える					
	第 3 回	内容	Flight Operation Public Announcements II (ペア・ワーク)	予習	前回学習した用語と意味を覚える					
				復習	機内アナウンスの日本語・英語を覚えてる					
	第 4 回	内容	Air craft Public Announcements III (ペア・ワーク)	予習	飛行機の種類と言い方について調べる					
				復習	日本語と英語の機内アナウンスを覚える					
	第 5 回	内容	Public Announcements (Welcoming) (ペア・ワーク)	予習	1～3 回で覚えた用語を復習してくる					
				復習	日本語と英語で対応できるよう覚える					
	第 6 回	内容	Role playing (check-in) (ペア・ワーク)	予習	1～3 回で覚えた用語を復習してくる					
				復習	日本語と英語で対応できるよう覚える					
	第 7 回	内容	Role playing (Boarding) (ペア・ワーク)	予習	1～3 回で覚えた用語を復習してくる					
				復習	日本語と英語で対応できるよう覚える					
	第 8 回	内容	Role playing (before take-off) (ペア・ワーク)	予習	1～3 回で覚えた用語を復習してくる					
				復習	日本語と英語で対応できるよう覚える					
	第 9 回	内容	Role playing (In-flight service) (ペア・ワーク)	予習	1～3 回で覚えた用語を復習してくる					
				復習	日本語と英語で対応できるよう覚える					
	第 10 回	内容	Role playing (Meal service) (ペア・ワーク)	予習	1～3 回で覚えた用語を復習してくる					
				復習	日本語と英語で対応できるよう覚える					
	第 11 回	内容	Role playing (Clear of the table) (ペア・ワーク)	予習	1～3 回で覚えた用語を復習してくる					
				復習	日本語と英語で対応できるよう覚える					
	第 12 回	内容	Role playing (Special Meal) (ペア・ワーク)	予習	1～3 回で覚えた用語を復習してくる					
				復習	日本語と英語で対応できるよう覚える					
	第 13 回	内容	Role playing (Inflight Entertainment) (ペア・ワーク)	予習	1～3 回で覚えた用語を復習してくる					
				復習	日本語と英語で対応できるよう覚える					
	第 14 回	内容	Role playing (Route Information) (ペア・ワーク)	予習	1～3 回で覚えた用語を復習してくる					
				復習	日本語と英語で対応できるよう覚える					
	第 15 回	内容	Role playing (ペア・ワーク)	予習	1～3 回で覚えた用語を復習してくる					
				復習	日本語と英語で対応できるよう覚える					
	予習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 30 分を目安とする。									
	課題へのフィードバック	課題シートに対してコメントを行う								
	成績評価	試験期間における定期試験：実施（○）する／（ ）しない 成績評価の方法： ・筆記試験（ 60%）、実技（ 20%）、授業態度【自主性】（ 20 %）								
教科書	『書名』（著者名、出版社名） なし									
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） なし									
注意事項	授業で学んだことを日々復習し、英語で表現することに取り組んでほしい。配布シートは必ずファイルをして、テキストファイルを作成する									

科 目 名	観光英会話			単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	はやし たかこ 林 貴子
ナンバリングコード	ENL3231			授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他 ()								
授 業 の 内 容	本授業では、外国にルーツを持つ顧客に英語で対応する際の基本的な表現や説明の仕方を目的とした英会話を学ぶ。 近年のグローバリゼーションの進展に伴い、英語による適切でスムーズなコミュニケーションを図ることが必要とされることを鑑み、外国人客と日本人スタッフの二者間の会話を中心として、ロールプレイング等による練習を行う。								
到 達 目 標	１．外国人観光客に英語で必要な情報を提供することができる ２．観光ビジネスや接客に関する基本的な英会話を身につけている ３．外国人に英語で日本の文化や伝統を紹介することができる								
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 (１, ２, ４)								
授 業 計 画	第 1 回	内容	ガイダンス (授業概要説明、成績評価説明)	予習	シラバスを読んでおく				
				復習	授業の進め方や成績評価について確認する				
	第 2 回	内容	Unit 1. Transportation	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える				
				復習	Unit の会話文と説明文を音読する				
	第 3 回	内容	Unit 2. At a Check-in Counter (hotel)	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える				
				復習	Unit の会話文と説明文を音読する				
	第 4 回	内容	Unit 3. Facilities and Services (hotel)	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える				
				復習	Unit の会話文と説明文を音読する				
	第 5 回	内容	Unit 4. Giving Directions	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える				
				復習	Unit の会話文と説明文を音読する				
	第 6 回	内容	Unit 5. Recommending a Trip	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える				
				復習	Unit の会話文と説明文を音読する				
	第 7 回	内容	Unit 6. Dining in Japan ①	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える				
				復習	Unit の会話文と説明文を音読する				
	第 8 回	内容	Unit 7. Dining in Japan ②	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える				
				復習	Unit の会話文と説明文を音読する				
	第 9 回	内容	Unit 8. Arranging a Tour	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える				
				復習	Unit の会話文と説明文を音読する				
	第 10 回	内容	Unit 9. Staying at a Ryokan	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える				
				復習	Unit の会話文と説明文を音読する				
	第 11 回	内容	Unit 10. Culture Experience in Japan ①	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える				
				復習	Unit の会話文と説明文を音読する				
	第 12 回	内容	Unit 11. Culture Experience in Japan ②	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える				
				復習	Unit の会話文と説明文を音読する				
	第 13 回	内容	Unit 12. Japanese Souvenirs	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える				
				復習	Unit の会話文と説明文を音読する				
	第 14 回	内容	Unit 13. Dealing with Health Problems and Emergencies	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える				
				復習	Unit の会話文と説明文を音読する				
	第 15 回	内容	Unit 14. Dealing with Complaints and Accidents	予習	Unit の Key Expressions と Vocabulary Check を覚える				
				復習	Unit の会話文と説明文を音読する				
予習に要する学習時間：概ね 3 0 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 2 0 分を目安とする。									
課題へのフィードバック	発表の際、発音や英語の表現等についてのフィードバックを行います。								
成績評価	試験期間における定期試験：実施 (○) する／ () しない 成績評価の方法：筆記試験 (2 5 %)、作品・発表 (2 5 %)、授業態度【 積極的参加 】(5 0 %)								
教科書	『Hospitality on the Scene』(上杉恵美・阿部佳・渭東史江・神末武彦・Jacob Schere、金星堂)								
参考文献	なし (必要な際はプリントを配布します。)								
注意事項	毎回辞書 (電子辞書・紙の辞書可) を持参すること。スマートフォンを辞書として使用するのは不可。会話のクラスなので、積極的に英語を話すこと。								

科 目 名	文化を訪ねる		単 位 数	2	授業時間数	30	担当教員	おいかわ みちゆき 及 川 道 之
ナンバリングコード	CUL3221		授業形態	演習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他（ ）							
授 業 の 内 容	京都について学んだことを基にして行動計画を作成し、12月の初旬に2泊3日の日程で京都を訪ねる。							
到 達 目 標	1. 各自で旅行中の行動計画が立てられる 2. 行動計画に基づいて円滑に行動できる 3. 旅行の成果をパワーポイントなどで発信できる							
学位授与方針	幼児教育学科（ ）地域保育学科（ ）文化表現学科（ 1、2 ）							
授 業 計 画	第1回	内容	授業の始まりにあたって～旅行の概要と留意点	予習	京都に関する資料を用意する			
				復習	メモや書き込などを整理しておく			
	第2回	内容	テーマの設定	予習	テーマの候補を幾つか用意する			
				復習	設定したテーマについて整理しておく			
	第3回	内容	行動計画書の作成と提出	予習	行動計画の原案を用意する			
				復習	行動計画書の細部を詰めて完成する			
	第4回	内容	京都を歩く（ボランティアの清掃活動）	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットなどを整理しておく			
	第5回	内容	行動計画に基づいて京都を歩くⅠ	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットなどを整理しておく			
	第6回	内容	行動計画に基づいて京都を歩くⅠ	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットなどを整理しておく			
	第7回	内容	行動計画に基づいて京都を歩くⅠ	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットなどを整理しておく			
	第8回	内容	行動計画に基づいて京都を歩くⅡ	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットなどを整理しておく			
	第9回	内容	行動計画に基づいて京都を歩くⅡ	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットなどを整理しておく			
	第10回	内容	行動計画に基づいて京都を歩くⅡ	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットなどを整理しておく			
	第11回	内容	行動計画に基づいて京都を歩くⅡ	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットなどを整理しておく			
	第12回	内容	行動計画に基づいて京都を歩くⅢ	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットなどを整理しておく			
	第13回	内容	行動計画に基づいて京都を歩くⅢ	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットなどを整理しておく			
	第14回	内容	行動計画に基づいて京都を歩くⅢ	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットなどを整理しておく			
	第15回	内容	行動計画に基づいて京都を歩くⅢ	予習	行動計画を改めて確認しておく			
				復習	入場拝観券やパンフレットなどを整理しておく			
予習に要する学習時間：概ね20 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 25 分を目安とする。								
課題へのフィードバック	課題提出時に口頭で伝える							
成績評価	試験期間における定期試験：実施（ ）する／（○）しない 成績評価の方法： 筆記試験（ ）、レポート・課題（ 50 ）、作品・発表（ ）、実技（ ）、授業態度【行動計画の作成】（ 50 ）							
教科書	『書名』（著者名、出版社名） 資料を配布する							
参考文献	『書名』（著者名、出版社名） 必要に応じて指示する							
注意事項	京都を歩くⅠ～Ⅲは3日間の集中講義							

科 目 名	イ ン タ ー ン シ ッ プ		単 位 数	2	授業時間数	9 0	担当教員	いとう あきよし 伊藤 明 芳
ナソパ®リンク®コード*	CAE3221		授業形態	実習	実務経験			
授 業 方 式	対面 ・ 遠隔 ・ その他 ()							
授 業 の 内 容								
到 達 目 標	1 . 2 . 3 .							
学位授与方針	幼児教育学科 () 地域保育学科 () 文化表現学科 ()							
授 業 計 画	第 1 回	内容		予習				
				復習				
	第 2 回	内容		予習				
				復習				
	第 3 回	内容		予習				
				復習				
	第 4 回	内容		予習				
				復習				
	第 5 回	内容		予習				
				復習				
	第 6 回	内容		予習				
				復習				
	第 7 回	内容		予習				
				復習				
	第 8 回	内容		予習				
				復習				
	第 9 回	内容		予習				
				復習				
	第 10 回	内容		予習				
				復習				
	第 11 回	内容		予習				
				復習				
	第 12 回	内容		予習				
				復習				
	第 13 回	内容		予習				
				復習				
	第 14 回	内容		予習				
				復習				
	第 15 回	内容		予習				
				復習				
	予習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 分を目安とする。							
	課題へのフィードバック							
	成績評価	試験期間における定期試験：実施 () する／ () しない 成績評価の方法： 筆記試験 (%)、レポート・課題 (%)、作品・発表 (%)、実技 (%)、授業態度【 (%)						
教科書	『書名』（著者名、出版社名）							
参考文献	『書名』（著者名、出版社名）							
注意事項								

科 目 名	キャリアスタディ(企業人に学ぶ)	単 位 数	2	授業時間数	3 0	担当教員	のなか ひろふみ 野中 博 史 他
ナソバ`リング`コート`	CAE3211	授業形態	講義	実務経験			
授 業 方 式	対面・遠隔・その他()						
授 業 の 内 容	企業との連携により、就業する際に必要な企画力、行動力、創造力、発表力、協調性などのコンピテンシー(社会人として活躍できる力)を育む授業です。ビジネスの現場で求められる課題について考え、企画・立案し、プレゼンテーションし、専門的な知識を有する企業の方の評価を受けます。自ら企画し立案するアクティブラーニングを含みます。						
到 達 目 標	1. 物事を企画し・立案する力をつけることができる。 2. コンピテンシー(社会人として活躍できる力)を育むことができる。 3. 多種多様な産業界と仕事の内容(職種)を知り、企業社会と働き方を認識することができる。						
学位授与方針	幼児教育学科()地域保育学科()文化表現学科(2. 3. 4)						
授 業 計 画	第1回	内容	授業内容の説明。課題解決ノートの使い方。企画提案書の書き方。	予習	シラバスを読んでおくこと。		
				復習	授業内容を確認すること。		
	第2回	内容	産業界の方の説明①(*産業界は全て異業種になります)	予習	事前の予定表に基づいて産業界について調べておくこと。		
				復習	課題解決ノートに記入し確認すること。		
	第3回	内容	振り返りシート及び企画提案書を書く。	予習	事前の予定表に基づいて産業界について調べておくこと。		
				復習	課題解決ノートに記入し確認すること。		
	第4回	内容	産業界の方の説明②	予習	事前の予定表に基づいて産業界について調べておくこと。		
				復習	課題解決ノートに記入し確認すること。		
	第5回	内容	振り返りシート及び企画提案書を書く。	予習	事前の予定表に基づいて産業界について調べておくこと。		
				復習	課題解決ノートに記入し確認すること。		
	第6回	内容	産業界の方の説明②	予習	事前の予定表に基づいて産業界について調べておくこと。		
				復習	課題解決ノートに記入し確認すること。		
	第7回	内容	振り返りシート及び企画提案書を書く。	予習	事前の予定表に基づいて産業界について調べておくこと。		
				復習	課題解決ノートに記入し確認すること。		
	第8回	内容	産業界の方の説明③	予習	事前の予定表に基づいて産業界について調べておくこと。		
				復習	課題解決ノートに記入し確認すること。		
	第9回	内容	振り返りシート及び企画提案書を書く。	予習	事前の予定表に基づいて産業界について調べておくこと。		
				復習	課題解決ノートに記入し確認すること。		
	第10回	内容	産業界の方の説明④	予習	事前の予定表に基づいて産業界について調べておくこと。		
				復習	課題解決ノートに記入し確認すること。		
	第11回	内容	振り返りシート及び企画提案書を書く。	予習	事前の予定表に基づいて産業界について調べておくこと。		
				復習	課題解決ノートに記入し確認すること。		
	第12回	内容	産業界の方の説明⑤	予習	事前の予定表に基づいて産業界について調べておくこと。		
				復習	課題解決ノートに記入し確認すること。		
	第13回	内容	振り返りシート及び企画提案書を書く。	予習	事前の予定表に基づいて産業界について調べておくこと。		
				復習	課題解決ノートに記入し確認すること。		
	第14回	内容	産業界の方の説明⑥	予習	事前の予定表に基づいて産業界について調べておくこと。		
				復習	課題解決ノートに記入し確認すること。		
	第15回	内容	全体の振り返りシート及び全体を俯瞰しての企画提案書を書く。	予習	これまでに配布した教材・ノートを確認。		
				復習	自ら振り返りすること。		
予習に要する学習時間：概ね 60 分を目安とする。 復習に要する学習時間：概ね 120 分を目安とする。							
課題へのフィードバック	課題などを通じて学習内容の徹底を図ります。						
成績評価	試験期間における定期試験：実施()する/(○)しない 成績評価の方法：筆記試験()%、レポート・課題(80%)、作品・発表()%、実技()%、授業態度【課題への対応等】(20%)						
教科書	『書名』(著者名、出版社名)特にありません。						
参考文献	『書名』(著者名、出版社名)特にありません。						
注意事項	「企画提案書」を課題とし、評価しますので必ず提出してください。						